工 種	種 別	形状	変 数	作成年度
舗装	車道舗装 構造表	N ₁		2025

車道舗装構造表N1交通

				舗	装 厚	(cm))	
名	称	使 用 材 料 名		C	B R	(%))	注 意 事 項
			3	4	5	6	8	
#	屈 工	再生密粒度アスファルト混合物			5			
表	層工	または 密粒度アスファルト混合物			9			↓ プライムコートエ(PK-3)
I. 🖂	100 机 一	再生粒度調整砕石 (RM-40)						
上層	路盤工	または 粒度調整砕石(M-40)	_	_	_	_	_	
	ne en -	再生クラッシャラン (RC-40)	00	00	1.5	1.5	10	
	路盤工	または クラッシャラン(C-4 0)	20	20	15	15	10	*
しゃ	断層	しゃ断層用砂	_	_	_		1	路床をそこなわないように均等に敷均す しゃ断層は舗装厚に含まず
	舗	装合計厚 (cm)	25	25	20	20	15	

※ 原則として再生材を使用する。 ただし、材料の入手が困難な場合はこの限りではない。

プライムコートエ:アスファルト乳剤 (PK−3) 1.2 ℓ/㎡

アスファルト舗装										
交通区分	С	В	R	舗装合計厚						
N1			(%)	(cm)						

工 種	種 別	形状	変 数	作成年度
舗装	車道舗装 構造表	N_2		2025

車道舗装構造表N2交通

				舖 2	装 厚	(cm)	
名	称	 使用材料名			B R			注意事項
1 1/1	441,	使用 的 籽 石		<u> </u>	D K	(/0,		[
			3	4	5	6	8	
		再生密粒度アスファルト混合物			_			
表	層工	または 密粒度アスファルト混合物			5			↓ プライムコートエ (PK-3)
	na an -	再生粒度調整砕石(RM-40)						
上僧	路盤工	または 粒度調整砕石(M-40)	10	10	_	_	_	*
		再生クラッシャラン(RC-40)						
卜層	路盤工	または クラッシャラン(C – 4 0)	15	10	20	20	20	*
しゃ	,断層	しゃ 断 層 用 砂	_	_	_	_	_	路床をそこなわないように均等に敷均す しゃ断層は舗装厚に含まず
	舗	装 合 計 厚 (cm)	30	25	25	25	25	

※ 原則として再生材を使用する。 ただし、材料の入手が困難な場合はこの限りではない。 プライムコート工:アスファルト乳剤 (PK-3) 1.2 ℓ/㎡

アスファルト舗装										
交 通 区 分	С	В	R	舗装合計厚						
N2			(%)	(cm)						

工 種	種 別	形状	変 数	作成年度
舗装	車道舗装 構造表	N ₃		2025
		旧L交通		

車道舗装構造表N3交通

	舗装厚(cm)							
名 称	使 用 材 料 名		С	ВЕ	₹ (%	(o)		注 意 事 項
		2	3	4	5	6	8	
+	再生密粒度アスファルト混合物							
表層工	または 密粒度アスファルト混合物			[)			↓ プライムコートエ (PK-3)
上層路盤	再生粒度調整砕石(RM-40) または 粒度調整砕石(M-40)	20	15	15	10	10	10	1層仕上げ厚:15cm以下 ※
下層路盤	再生クラッシャラン(RC-40)	20	20	15	20	15	10	*
しゃ断層	再生砂及びしや断層用砂	15	_	_	_			路床をそこなわないように均等に敷均す しゃ断層は舗装厚に含まず
舗	45	40	35	35	30	25		

※ 原則として再生材を使用する。 ただし、材料の入手が困難な場合はこの限りではない。

> プライムコートエ:アスファルト乳剤 (PK-3) 1.2 ℓ/m²

アスファルト舗装									
交 通 区 分	С	В	R	舗装合計厚					
N3 (旧L交通)			(%)	(cm)					

工 種	種 別	形状	変 数	作成年度
舗装	車道舗装 構造表	N4		2025
		旧A交通		

				上層	路盤材	t : ア.	スファ	ルトタ	D理混	合物	上層	路盤	材:	砕石		
b	#h	使用材料名	,		4	浦装	厚	(cm)			舖	装	厚 (c	em)	注意事項	
名	称	使用树材石	i [C B R (%)							C B R (%)			%)	· 注 意 事 項	
				2	3	4	5	6	8	12	2	3	4	5		
	0 t	再生密粒度アスファルト温	君合物		_								_			
表	層工	または 密粒度アスファルト混合物			5						5				↓ タックコートエ (PK-4)	
#	II 1	再生粗粒度アスファルト混合物 または										,	_		↓ タックコートエ (PK-4) または	
基	層工	粗粒度アスファルト混合	物								5				プライムコート工 (PK-3)	
		再生アスファルト処理混合	生アスファルト処理混合物 または 5													
	加力	または アスファルト処理混合物	勿	5)						↓ プライムコートエ (PK-3)	
上層	路盤工	再生粒度調整砕石 (RM-	40)	20	15	15	10	10	15	1.5	1.5	1.5	25	20	1層仕上げ厚:15cm以下	
		または 粒度調整砕石(M-4(0)	20	19	10	10	10	15	15	15	15	20	20	*	
	nh én -	再生クラッシャラン (RC-	40)	20	20										1層仕上げ厚:20cm以下	
	路盤工	または クラッシャラン(C-4(20	20	15	15	15	_	_	25	15	_	_	*	
1.4	W. E			1.5							1.5					
しゃ	断 層	再生砂及びしゃ断層	用砂	15							15				路床をそこなわないように均等に敷均す しゃ断層は舗装厚に含まず	
	舗装	合 計 厚 (cm)		50	45	40	35	35	25	25	50	40	35	30		

※ 原則として再生材を使用する。 ただし、材料の入手が困難な場合はこの限りではない。

> プライムコート工:アスファルト乳剤 (PK-3) 1.2 ℓ/㎡

タックコート工:アスファルト乳剤(PK-4) 0.3~0.6 ℓ/㎡を標準とする。

(・交通解放する場合:切削打換

- ・オーバーレイなどで切削面や既設路面上の舗設する場合:0.6 0/㎡を標準とする。
- ・汚さずに数日後表層を舗設する場合: 0.3 ℓ/m²を標準とする。
- ・アスファルト系下層の上に連続して舗設する場合:0

アスファルト舗装									
交 通 区 分	С	В	R	舗	装	合	計	厚	
N4 (旧A交通)			(%)					(cm)	

工 種	種 別	形状	変 数	作成年度
舗装	車道舗装 構造表	N ₅		2025
		旧B交通		

				上層記	咯盤材	†:ア	スファ	ルト	処理酒	启物	上		材:	セメン	/ 卜処:	理混合	ì物			
名		称	使 用 材 料 名		舗	装	厚	(cı	n)			舗	装	厚	(cr	n)		 注 意 事 項		
4		471	使用 相 相 有		(В	R	(%)				(В	R	(%)					
				2	3	4	5	6	8	12	2	3	4	5	6	8	12			
表	層	I	再生密粒度アスファルト混合物 または 密粒度アスファルト混合物				5							5				↓ タックコートエ (PK-4)		
基	層	I	再生粗粒度アスファルト混合物 または 粗粒度アスファルト混合物				5							5				↓ タックコートエ (PK-4) または プライムコートエ (PK-3) ※2		
1. 5	2 0/2	都 一	再生アスファルト処理混合物・ アスファルト処理混合物 またはセメント処理混合物				5				15	15	15	15	10	10	10	1層仕上げ厚:15cm以下(セメ処理) ↓ プライムコートエ(PK-3)※1		
	目的	盤工	再生粒度調整砕石 (RM-40) または 粒度調整砕石 (M-40)	25	20	15	10	20	15	10	15	15	10	_	10	_	_	1層仕上げ厚:15cm以下 ※3		
下層	路	盤工	再生クラッシャラン (R C - 4 0) または クラッシャラン (C - 4 0)	25	20	20	20	_		_	25	10	10	15	10	15	10	1層仕上げ厚: 20cm以下 ※3		
l	や勝	斤層	再生砂及びしゃ断層用砂	15	_	_	_	_	_	_	15	_	_	_	_	_	_	路床をそこなわないように均等に敷均す しゃ断層は舗装厚に含まず		
	į	舗装	合 計 厚 (cm)	65	55	50	45	35	30	25	65	50	45	40	40	35	30			

※3 原則として再生材を使用する。 ただし、材料の入手が困難な場合はこの限りではない。 プライムコート工:アスファルト乳剤(PK-3)

※1. アスファルト処理路盤とする場合: 1. 2 ℓ/m²※2. セメント処理路盤仕上げ直後に散布する: 1. 0 ℓ/m²

タックコートエ:アスファルト乳剤 (PK-4) 0.3~0.6 ℓ/m²を標準とする。

- (・交通解放する場合:切削打換
- ・オーバーレイなどで切削面や既設路面上の舗設する場合: 0. 6 ℓ/㎡を標準とする。
- ・汚さずに数日後表層を舗設する場合: 0.3 ℓ/m²を標準とする。
- ・アスファルト系下層の上に連続して舗設する場合:0

	アスフ	アル	卜舗装	
交通区分	С	В	R	舗装合計厚
N5 (旧B交通)			(%)	(cm)

車道舗装構造表N6交通

工 種	種 別	形状	変 数	作成年度
舗装	車道舗装 構造表	N ₆		2 0 2 5
		旧C交通		

				上層記	烙盤材	: T	スファ	ルト	処理涯	記合物	上	層路盤	材:	セメン	卜 処	理混合	ì物	
名		称	使 用 材 料 名		舗	装	厚	(cı	n)			舗	装	厚	(cı	n)		注意事項
		471,	医 用 的 籽 石		(В	R	(%)				(В	R	(%)			任 息 争 復
				2	3	4	5	6	8	12	2	3	4	5	6	8	12	
表	層	I	再生密粒度アスファルト混合物 または 密粒度アスファルト混合物		5			5					↓ タックコートエ (PK-4)					
基	層	I	再生粗粒度アスファルト混合物 または 粗粒度アスファルト混合物				10			5				10				↓ タックコートエ (PK-4) または プライムコートエ (PK-3) ※3
	לח ק	· AL T	再生アスファルト処理混合物・ アスファルト処理混合物 またはセメント処理混合物				10				25	20	20	20	15	15	10	1層仕上げ厚:10cm以下(アス処理) 1層仕上げ厚:15cm以下(セン処理) ← ブライムコートエ (PK-3) ※2
上眉	自岭	盤 工	再生粒度調整砕石 (RM-40) または 粒度調整砕石 (M-40)	25	20	15	10	15	10	15	15	15	10	15	15	10	_	1層仕上げ厚:15cm以下 ※4
下層	賢 路	盤工	再生クラッシャラン (RC-40) または クラッシャラン (C-40)	30	20	15	15	_	_	_	20	15	10	_	_	_	10	1層仕上げ厚:20cm以下 ※4
L	やり	析 層	再生砂及びしゃ断層用砂	15	ı	_	_	_		_	15	_		_	_	_		路床をそこなわないように均等に敷均す しゃ断層は舗装厚に含まず
		舗装	合 計 厚 (cm)	80	65	55	50	40	35	35	75	65	55	50	45	40	35	

※4 原則として再生材を使用する。 ただし、材料の入手が困難な場合はこの限りではない。

プライムコート工:アスファルト乳剤(PK-3)

(※1. アスファルト処理路盤とする場合:1.2 ℓ/m²

※2. セメント処理路盤を同日で加工できない 場合のみ仕上げ直後に散布: 1.0 0/m²

※3. セメント処理路盤仕上げ直後に散布: 1. 0 0/m²

タックコート工:アスファルト乳剤(PK-4) 0.3~0.6 ℓ/m²を標準とする。

- (・交通解放する場合:切削打換
- ・オーバーレイなどで切削面や既設路面上の舗設する場合: 0. 6 ℓ/㎡を標準とする。
- ・汚さずに数日後表層を舗設する場合: 0.3 ℓ/㎡を標準とする。
- ◆ アスファルト系下層の上に連続して舗設する場合: 0

アスファルト舗装								
交通区分	С	В	R	舗装合計厚				
N6 (旧C交通)			(%)	(cm)				

車道舗装構造表(補修用) N3交通

工 種	種 別	形状	変 数	作成年度
舗装	車道舗装 構造表 (補修用)	N3		2 0 2 5
		旧L交通		

		舗	装	厚	(cm)			
名 称	使 用 材 料 名	С	ВІ	R (%)	注 意 事 項		
		2	3	4	5			
表 層 エ 再生密粒度アスファルト混合物または密粒度アスファルト混合物			į	5		↓ プライムコートエ (PK-3)		
上層路盤工	再生粒度調整砕石(RM-40) または 粒度調整砕石(M-40)	20	30	30	25	1層仕上げ厚:15cm以下 ※		
下層路盤工 再生クラッシャラン (RC-40) または クラッシャラン (C-40)		20	_	_		*		
しゃ断層	再生砂及びしゃ断層用砂	15	_	_		路床をそこなわないように均等に敷均す しゃ断層は舗装厚に含まず		
舗装	45	35	35	30				

※ 原則として再生材を使用する。 ただし、材料の入手が困難な場合はこの限りではない。

> プライムコートエ:アスファルト乳剤 (PK-3) 1.2 ℓ/㎡

アスファルト舗装									
交通区分	C B R	舗装合計厚							
N3 (旧L交通)	(%)	(cm)							

車道舗装構造表(補修用) N4交通

工 種	種 別	形 状	変 数	作成年度
舗装	車道舗装 構造表 (補修用)	N4		2025
		旧A交通		

			舗	装	厚(cm)			
名 和	陈	使 用 材 料 名	С	B R	(%	6)	注 意 事 項		
			2	3	4	5			
表層工	-	再生密粒度アスファルト混合物 または 密粒度アスファルト混合物		Ę	5		↓ タックコートエ (PK-4)		
基層工	-	再生粗粒度アスファルト混合物 または 粗粒度アスファルト混合物	5				↓ プライムコートエ (PK-3)		
上層路盤	I	再生粒度調整砕石 (RM-40) または 粒度調整砕石 (M-40)	15	15	25	20	1層仕上げ厚:15cm以下 ※		
下層路盤	I	再生クラッシャラン (RC-40) または クラッシャラン (C-40)	25	15		_	1層仕上げ厚: 20cm以下 ※		
しゃ断り	習	再生砂及びしゃ断層用砂	15			_	路床をそこなわないように均等に敷均す しゃ断層は舗装厚に含まず		
舗	舗 装 合 計 厚 (cm)					30			

※ 原則として再生材を使用する。 ただし、材料の入手が困難な場合はこの限りではない。 プライムコート工:アスファルト乳剤(PK-3)

1. 2 l/m²

タックコートエ:アスファルト乳剤(PK-4) 0.3~0.6 ℓ/m²を標準とする。

- (・交通解放する場合:切削打換
- ・オーバーレイなどで切削面や既設路面上の舗設する場合:0.6 0/㎡を標準とする。
- ・汚さずに数日後表層を舗設する場合: 0.3 ℓ/㎡を標準とする。
- ・アスファルト系下層の上に連続して舗設する場合:0

アスファルト舗装									
交通区分	С	В	R	舗装合計厚					
N4 (旧A交通)			(%)	(cm)					

工 種	種 別	形状	変 数	作成年度
舗装	車道舗装 構造表 (補修用)	N_5		2025
		旧B交通		

車道舗装構造表(補修用) N5 交通

		4-4	\LL-	- /	<i>,</i> \			
		舗	装	厚((cm)			
名 称	使 用 材 料 名	C B R (%)		,)	注 意 事 項			
		2	3	4	5			
表層工	再生密粒度アスファルト混合物 または 密粒度アスファルト混合物			5		↓ タックコートエ (PK-4)		
基層工	再生粗粒度アスファルト混合物 または 粗粒度アスファルト混合物	10				↓ プライムコートエ (PK-3)		
上層路盤工	再生粒度調整砕石(RM-40) または 粒度調整砕石(M-40)	30	20	30	20	1層仕上げ厚:15cm以下 ※		
下層路盤工	再生クラッシャラン (RC-40) または クラッシャラン (C-40)	15	20		_	*		
しゃ断層	再生砂及びしゃ断層用砂	15			_	路床をそこなわないように均等に敷均す しゃ断層は舗装厚に含まず		
舗装	舗装合計厚 (cm)							

※ 原則として再生材を使用する。 ただし、材料の入手が困難な場合はこの限りではない。 プライムコート工:アスファルト乳剤 (PK-3)

1. 2 l/m²

タックコートエ:アスファルト乳剤(PK-4) 0.3~0.6 ℓ/㎡を標準とする。

- (・交通解放する場合:切削打換
- ・オーバーレイなどで切削面や既設路面上の舗設する場合:0.6 ℓ/m²を標準とする。
- ・汚さずに数日後表層を舗設する場合: 0.3 ℓ/㎡を標準とする。
- ・アスファルト系下層の上に連続して舗設する場合:0

アスファルト舗装									
交通区分	С	В	R	舗	装	合	計	厚	
N5 (旧B交通)			(%)				(сі	m)	

工 種	種 別	形状	変 数	作成年度
舗装	車道舗装 構造表 (補修用)	N6		2025
		旧C交通		

車道舗装構造表(補修用) N6 交通

		舗	装	厚((cm)			
名 称	使 用 材 料 名	С	BR	(%	(注 意 事 項		
		2	3	4	5			
表層工	再生密粒度アスファルト混合物 または 密粒度アスファルト混合物		į	5		↓ タックコートエ (PK-4)		
基層工	再生粗粒度アスファルト混合物 または 粗粒度アスファルト混合物	20				↓ プライムコートエ(P K — 3) 1層仕上げ厚:10cm以下		
上層路盤工	再生粒度調整砕石 (RM-40) または 粒度調整砕石 (M-40)	20	15	25	20	1層仕上げ厚:15cm以下 ※		
下層路盤工	再生クラッシャラン (RC-40) または クラッシャラン (C-40)	30	20			1層仕上げ厚: 20cm以下 ※		
しゃ断層	再生砂及びしゃ断層用砂	15	_			路床をそこなわないように均等に敷均す しゃ断層は舗装厚に含まず		
舗装	e 合計厚 (cm)	75	60	50	45			

※ 原則として再生材を使用する。 ただし、材料の入手が困難な場合はこの限りではない。 プライムコートエ:アスファルト乳剤 (PK-3)

1. 2 l/m²

タックコートエ:アスファルト乳剤(PK-4) 0.3~0.6 ℓ/㎡を標準とする。

- (・交通解放する場合:切削打換
- ・オーバーレイなどで切削面や既設路面上の舗設する場合:0.6 ℓ/m²を標準とする。
- ・汚さずに数日後表層を舗設する場合: 0.3 ℓ/㎡を標準とする。
- ・アスファルト系下層の上に連続して舗設する場合:0

アスファルト舗 装									
交通区分	С	В	R	舗装合計厚					
N6 (旧C交通)			(%)	(cm)					

工 種	種 別	形 状	変 数	作成年度
舗装	歩道舗装 構造表			2 0 2 5

歩道舗装構造表

表層材料名 区 分 名 称		細粒度アスファルト混合物			セメント コンクリート (普通18-8-20N)		コンクリート平板			インターロッキングブロック					
		区分I		区分	区分II		区分II	区分	} I	区分	}II	区组	分I	区分)II
表層工		3		 			i	平板	6	 平板 	6	普通インタ ロッキンタ ブロック		普通インター ロッキンター フロック	
4	/自 土	3 3		7 10		敷砂	3	空練り モルタ/ (1:3)	i 3	敷砂	2	 敷砂 	2		
路盤工	RM-30または M-30(cm)	7	-	i 10 	-	-	 – 	7	-	10	-	7	-	1 1 1 1 1	-
1 50 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	RC-30または C-30(cm)	-	10	 - - -	15	10	15	_	10	 - - -	15	-	10	 - - -	15
舗装	複合計厚 (cm)	10	13	13	18	17	25	16	19	19	24	15	18	20	25

RM-30: 再生粒度調整砕石

M-30 : 粒度調整砕石

RC-30 : 再生クラッシャラン

C-30 : クラッシャラン

1) アスファルト乳剤(PK-3)をそれぞれ1.2 Q/m2 散布すること。

2) セメントコンクリート舗装の場合は、 収縮目地を5m間隔で設けることを標準とする。

3) 調達が可能な地域においては、再生骨材コンクリートを活用する。

4) 原則として、再生材を使用する。

ただし、材料の入手が困難な場合はこの限りではない。

区分I ・・・・歩道や自転車道で、専ら歩行者および自転車の通行を想定した場合。

区分II・・・・公園や商店街の歩行者系道路で、歩行者や自転車以外に 管理用車輌や限定された一般車輌の通行を想定した場合。

工 種	種別	形状	変 数	作成年度
舗装	透水性舗装 構造表			2025

透水性舗装構造表

表層材		開粒度アスファ	・ルト混合物2号	コンクリート平板	インターロッ	キングブロック	
区 分 名 称		区分I	区分II	区分I	区分I	区分II	
表層工		4	4	透水性 コンクリート 6 平板	透水性インター ロッキング 6 ブロック	透水性インター ロッキング 8 ブロック	
				敷砂 3	敷砂 2	敷砂 2	
透水性シー	透水性シートの使用		_	使用	使用	使用	
路盤工	RC-30 またはC-30 (cm)※	10	15	10	10	15	
フィルター層しゃ断層用砂		(5)	(5)	(5)	(5)	(5)	
	舗装合計厚 14 (19) 19 (24)		19 (24)	19 (24)	18 (23)	25 (30)	

RC-30 : 再生クラッシャラン

C-30 : クラッシャラン

(1) 透水性シートは、60g/m2を標準とする。

区分I・・・・歩道や自転車道で、専ら歩行者および自転車の通行を想定した場合。

区分II ・・・・公園や商店街の歩行者系道路で、歩行者や自転車以外に 管理用車輌や限定された一般車輌の通行を想定した場合。

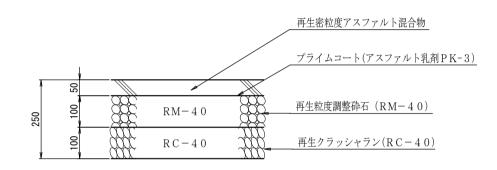
※ 原則として、再生材を使用する。

ただし、材料の入手が困難な場合はこの限りではない。

生活道路等の場合

工 種	種 別	形状	変 数	作成年度
舗装	車道舗装 N1交通	設計CBR 3%		2025

<参 考>

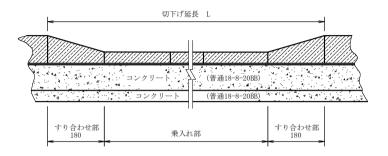


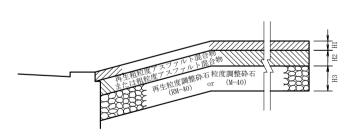
- ・使用材料については原則、再生材を使用する。
- ・表層は再生密粒度アスファルト混合物を使用することを原則とし、状況によりポリマー改質アスファルトⅠ型、ポリマー改質アスファルトⅡ型及び開粒度アスファルト混合物1号を使用する。
- ・ポリマー改質アスファルトI型、ポリマー改質アスファルトⅡ型を使用する場合は、改質アスファルト乳剤(PKR-T)を使用すること。
- ・生活道路等については本舗装構成を標準とする。

歩道車乗入れ舗装

工 種	種 別	形状	変 数	作成年度
舗装	歩道車乗 入れ舗装			2025
	アスファルト舗装			

アスファルト舗装





種別	項目	アスコン(H1) 細粒度アスファルト 混合物	アスコン(H2) 再生粗粒度 または粗粒度	再生粒度調整砕石(RM-40) または 粒度調整砕石(M-40) (H3)	舗 装 厚 (cm)	切下げ延長 L(cm)
A	型	5	_	30	35	303
В	型	5	_	30	35	424
С	型	5	_	30	35	545
D	型	5	10	35	50	727
Е	型	_	_	_	_	_

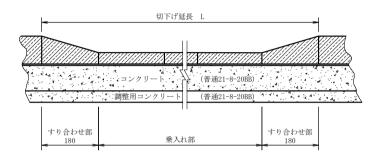
- (注) 1. 歩道幅員が2.50m未満の場合も本表に準ずる。
 - 2. E型の舗装は、特殊なものとし原則的には設置しない。やむを得ず使用の場合は 別途指示するものとする。
 - 3. 路盤上には、アスファルト乳剤(PK-3)1.2 1/m2を使用する。
 - 4. 基層上には、必要に応じてタックコートを使用する。
 - 5. 調達が可能な地域においては、再生骨材コンクリートを活用する。
 - 6. 原則として再生材を使用する。 ただし、材料の入手が困難な場合はこの限りではない。

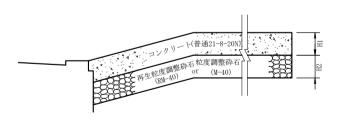
名 称	使用材料名	A、B、C 型	D 型	注意事項
2 4 4 4	使用材料箱	舗装厚	舗装厚	任息爭模
表層工	細粒度アスファルト混合物	5	5	タックコート工
衣僧工	和程度テムファルド低音物	5	ð	(必要に応じて)
基礎工	再生粗粒度アスファルト混合物			プライムコートエ
基 罐上	または粗粒度アスファルト混合物	_	10	7 / 4 4 4 4 4 4
no en →	再生粒度調整砕石(RM-40)	00	95	
路盤工	または粒度調整砕石(M-40)	30	35	
路床				路床転圧工

歩道車乗入れ舗装

工 種	種 別	形状	変 数	作成年度
舗装	歩道車乗 入れ舗装			2025
	コンクリート舗装			

コンクリート舗装





種別	項目	コンクリート (普通21-8-20N) H1(cm)	再生粒度調整砕石(RM-40) または 粒度調整砕石(M-40) H2(cm)	舗 装 厚 (cm)	切下げ延長 L(cm)
A	型	15	15	30	303
В	型	15	15	30	424
С	型	15	15	30	545
D	型	20	20	40	727
Е	型	_	_	_	_

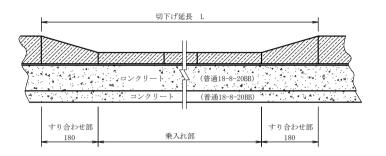
- (注) 1. 歩道幅員が2.50m未満の場合も本表に準ずる。
 - 2. E型の舗装は、特殊なものとし原則的には設置しない。やむを得ず使用の場合は 別途指示するものとする。
 - 3. 表面はハケ引き仕上げとする。
 - 4. 路盤上には、アスファルト乳剤(PK-3)1.2 √m2を使用する。
 - 5. 調達が可能な地域においては、再生骨材コンクリートを活用する。
 - 6. 原則として再生材を使用する。 ただし、材料の入手が困難な場合はこの限りではない。

名称	使用材料名	A、B、C 型	D 型	注意事項	
40 柳	使用材料名	舗装厚	舗装厚	仁息事項	
表層工	コンクリート(普通21-8-20N)	15	20	プライムコート	
路盤工	再生粒度調整砕石(RM-40)	15	20		
增强工.	または粒度調整砕石(M-40)	15	20		
路床				路床転圧工	

歩道車乗入れ舗装	英
----------	---

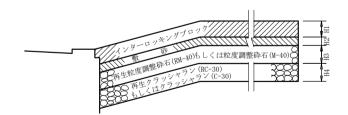
工 種	種 別	形状	変 数	作成年度
舗装	歩道車乗 入れ舗装			2025
	インターロッキング ブロック舗装			

インターロッキングブロック舗装



種另		普通インターロッキング ブロック(H1)	敷砂(H2)	再生粒度調整砕石(RM-40) または 粒度調整砕石(M-40) (H3)	再生クラッシャラン (RC-30)または クラッシャラン(C-30) (H4)	舗 装 厚 (cm)	切下げ延長 L(cm)
A	型	8	2	10	10	30	303
В	型	8	2	10	10	30	424
С	型	8	2	10	10	30	545
D	型	8	2	10	15	35	727
Е	型	_	_	_	_	_	_

- (注) 1. 歩道幅員が2.50m未満の場合も本表に準ずる。
 - 2. E型の舗装は、特殊なものとし原則的には設置しない。やむを得ず使用の場合は 別途指示するものとする。
 - 3. 調達が可能な地域においては、再生骨材コンクリートを活用する。
 - 4. 原則として再生材を使用する。 ただし、材料の入手が困難な場合はこの限りではない。



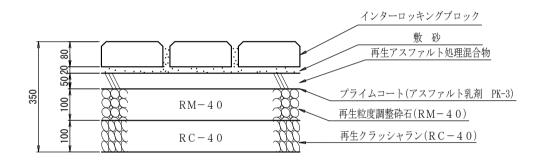
名 称	使用材料名	A、B、C 型	D 型	注意事項
20 10	使用材料名	舗装厚	舗装厚	在息事 模
表層工	インターロッキングブロック	8	8	
サンド クッション	敷砂	2	2	
nt do.	再生粒度調整砕石(RM-40) または粒度調整砕石(M-40)	10	10	
路盤工	再生クラッシャラン(RC-30) またはクラッシャラン(C-30)	10	15	
路 床				路床転圧工

インターロッキングブロック舗装
A s 基礎

工 種	種 別	形状	変 数	作成年度
舗装	インターロッキンク゛ ブ゛ロック舗装			2025

<参 考>

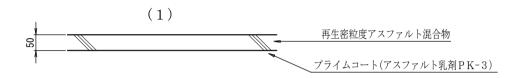
車乗入れ部

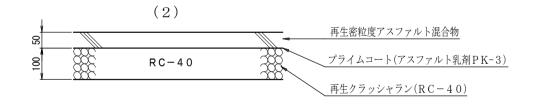


工種	種別	形状	変数	作成年度
舗装	簡易舗装			2025

簡易舗装

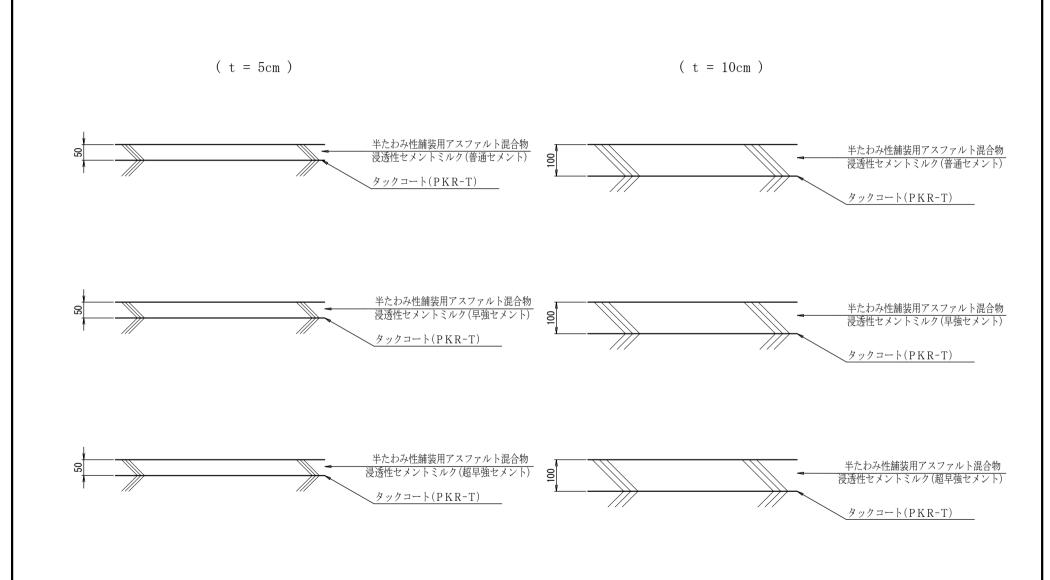
<参 考>





	工 種	種 別	形状	変 数	作成年度
	舗装	半たわみ性 舗 装			2025
<u> </u>					
·	-				

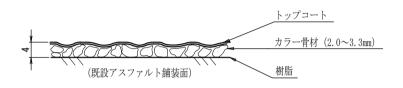
半



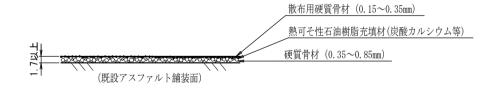
工 種	種 別	形状	変 数	作成年度
舗装	薄層カラー 舗装工			2025

薄層カラー舗装工

常温塗布式樹脂舗装



溶融噴射式カラー路面舗装



工 種	種 別	形状	変 数	作成年度
舗装	真空コンクリート 舗装			2025

真空コンクリート 舗 装 (30型)

<参 考>

